

課題番号2

基本方針：Ⅱ		課題名：県特産果樹の難防除害虫対策の強化	
対象：天理市果樹園芸組合カキ部会 イチジク生産者・出荷組合		計画期間：H30～R1	
		事務所名：北部農林振興事務所	
普及指導事項	活動内容	活動成果（計画当初→R1年度末）	
①カキの難防除害虫対策推進	調査展示圃 巡回指導・調査 講習会	県の防除歴に基づく防除 →地域の実情に即した防除の実践 アザミウマの被害果率 40.3% → 14.8%	
②イチジクの難防除害虫対策推進	発生予察実施支援 栽培勉強会 巡回指導	粘着板を用いた効果的防除の実践者 6名 → 19名	

総合評価（コメント）
<p>A：6名</p> <ul style="list-style-type: none"> ■生物農薬導入推進は、品種・作物横断的なテーマであるので、牽引者捜しや育成、普及などにおける課題や知恵を他課題や他センターと共有していただきたい。 ■発生予察結果を部会員に情報提供が行われ、被害の低減が図られており、産地の維持が期待される。 ■両産地とも、存在感のある産地として維持、発展させてほしい。現状最も重要と思われる対策であり、結果を出して頂きたい。 ■農家にとって防除時期が分かるのは、余分な農薬散布をしなくて良いのでとても助かる。 ■害虫防除指導や粘着版を用いた防除により、着実に被害を減らすことができている。今後も活動を継続してほしい。 ■カキもイチジクも防除は簡単ではない。継続が必要だが、方向性は正しいと思うので更なる工夫を期待したい。

普及指導計画への反映状況等
<ul style="list-style-type: none"> ■カキ産地におけるチャノキイロアザミウマの被害は依然として高い状態にあるので、引き続き発生予察と迅速な情報提供を継続することにより被害の低減を図っていきます。 ■イチジク産地では、粘着板を用いた効果的な防除の普及と定着を継続して支援します。さらに、有利販売を目指した前進出荷や高品質生産への取り組みを推進します。